

# 第3学年 国語科 学習構想案

日 時 令和3年9月1日（水）第2校時

場 所 3年教室

指導者 教諭 城下 傑

## 1 単元構想

単元名	パラリンピックについて調べよう「パラリンピックが目指すもの」（東京書籍「新しい国語下」）			
単元の目標	(1) 必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出展の示し方、辞書や辞典の使い方を理解することができる。 (2) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 (3) 「泗水西小のみんなに向けて、大事な文や言葉を使ってまとめたパラリンピックリーフレットを作ろう」という学習課題を明確にして、中心となる語や文を見つけて要約しようとする。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	①必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出展の示し方、辞書や辞典の使い方を理解している。(2)イ	①「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。C(1)ウ ②「書くこと」において、目的を意識して書くことを選び、集めた情報を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア	①「泗水西小のみんなに向けて、大事な文や言葉を使ってまとめたパラリンピックリーフレットを作ろう」という学習課題を明確にして、中心となる語や文を見つけて要約しようとしている。	
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）				
調べたことを要約してまとめる際に、文章の中の大事な言葉や文を見つけて分かりやすくまとめることができる。				
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方		
泗水西小のみんなに向けて、大事な文や言葉を使ってまとめたパラリンピックリーフレットを作ろう		目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することを通して言葉への自覚を高めること。		
習得させる用語	①段落 ②要約	習得させる方法	①段落毎の内容を要約する。	
指導計画と評価計画（14時間取扱い 本時7/14）				
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	用語・方法の習得	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パラリンピックについて書かれた文章を要約してリーフレットにまとめるという課題意識をもつ。</li> <li>○難解語句の意味を調べる。</li> </ul>		【態①】（発言、姿） ○パラリンピックについて書かれた文章を要約してリーフレットにまとめるという課題に向け、教科書の語句調べに取り組んでいる。
二	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通読して、段落毎の大まかな内容を捉えながら、文章の構成をつかむ。</li> <li>○1～4段落について、大事な語や文を見つける。</li> <li>○1～4段落について、前時で見つけた大事な語や文をもとに、要約しながら文章を読み取る。</li> <li>○5～8段落について大事な語や文を見つける。</li> <li>○5、6段落の「水泳」について、大事な語や文をもとに要約しながら文章を読み取る。（本時）</li> <li>○7、8段落の「ポッチャ」について、大事な語や文をもとに要約しながら文章を読み取る。</li> <li>○9～11段落について、大事な語や文を見つけて要約しながら文章を読み取る。</li> </ul>	用語① 用語② 方法①	【思①】（ノート、教科書） ○各段毎の大まかな内容を捉え、始め、中、終わりの文章構成をつかんでいる。 ★【思①】（ノート、シート、教科書） ○1～4段落における大事な語や文を見つけて、要約している。 ★【思①】（ノート、シート、教科書） ○5～8段落における大事な語や文を根拠とともに見つけている。 ★【思①】（ノート、シート、教科書） ○5、6段落における大事な語や文をもとに、要約している。 ★【思①】（ノート、シート、教科書） ○7、8段落における大事な語や文をもとに、要約している。 ★【思①】（ノート、シート、教科書） ○9～11段落における大事な語や文を見つけて、要約している。
三	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パラリンピックについて知りたいことを考え、調べるテーマを決める。</li> <li>○本や資料、インターネットから知りたいことを見つけ、情報を集める。</li> <li>○書き留めた語や文を整理して、大事な文を落とさないように要約する。</li> <li>○要約した文章をもとに、リーフレットに分かりやすくまとめる。</li> <li>○リーフレットを読み合い、交流する。</li> </ul>	活用	★【知①】（ノート、発言、姿） ○調べたいテーマについて情報を集める際に、本や資料、インターネットの引用の仕方や使い方を理解している。 ★【思②】（ノート、リーフレット） ○リーフレットを書くという目的を意識して、集めた情報を整理して、伝えたいことを明確にしている。 ★【態①】（リーフレット、発言） ○リーフレット作りに向けて、中心となる語や文を見つけて要約しようとしている。

## 2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
[知識及び技能] (2) イ 必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出展の示し方、辞書や辞典の使うこと。 [思考力, 判断力, 表現力等] 「C 読むこと」(1) ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。 「B 書くこと」(1) ア 目的を意識して、書くことを選び、集めた情報を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。				
教材・題材の価値				
本教材は、パラリンピックの概要や理念について説明し、具体的な二つの競技を紹介する文章である。パラリンピックとはどういったものか、具体的な種目、大切にしている考えや目指すものといった複数の話題で構成されており、話題ごとに大事な言葉や文を見つけて要約することに適した教材文といえる。また、児童にとって身近なスポーツの話題や体育科での取り組みと関連付けることで、興味や関心を持って取り組むことができる題材ともいえる。				
本単元における系統				
<pre>           graph TD             A[1年「いろいろなふね」 説明の文章を読む] --&gt; B[2年「ビーバーの大工事」 知りたいことを本で調べる]             B --&gt; C[3年「パラリンピックが目指すもの」 要約してまとめる]             D[3年「自然のかくし絵」 段落の内容をとらえる] --&gt; C             C --&gt; E[3年「人をつつむ形 —世界の家めぐり」 ものの見方や考え方をとらえる]             C --&gt; F[4年「くらしの中の和と洋」 調べたことを関係付ける]             F --&gt; G[5年「和の文化を受けつぐ」—和菓子をさぐる 必要な情報を見つける]             G --&gt; H[6年「町の幸福論」—コミュニティデザインを考える 情報を関係付けて活用する]           </pre>				
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態) 男子4名 女子6名 計10名回答				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(%) ※4月実施の市学調の結果より				
調査内容	○	×		
事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(1)				
事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(2)				
情報と情報との関係について理解し、文章の中の重要な語を 考えて選び出している。				
■本単元の学習に関する意識の状況(%) ※7月実施の意識調査の結果より				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
① 国語は好きですか。				
② 国語は得意ですか。				
③ 国語の授業で自分の意見を発表するのは好きですか。				
④ 国語の授業で自分の意見を相手に分かりやすく発表 できていますか。				
⑤ 国語の授業で友だちの意見を聞くのは好きですか。				
⑥ 国語の授業で友だちの意見を自分の意見と比べなが ら聞いていますか。				
⑦ 読書は好きですか。				
⑧ 説明文を読むのは好きですか。				

■考察

(資質・能力に関して)

(学びに関して)

### 3 指導に当たっての留意点（「校内研修の取組の視点」等から指導上の留意点等について明記）

#### <視点① 指導事項と用語・方法の明確化>

- 本単元の指導事項は、「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること」及び、「目的を意識して、書くことを選び、集めた情報を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること」である。各段落における大まかな内容を捉え、段落毎に中心となる語や文に注目させることで、要約の構造を捉えさせたい。また、全校児童に向けて、パラリンピックリーフレットを作るという目的を設定することで、伝えたいことを明確にさせたい。
- 本単元で習得させるべき用語は、「段落」と「要約」である。段落は、文章の一まとまりであること、要約は書かれてあることを短くまとめたものであることをきちんと押さえることで、用語の習得を目指す。
- 本単元で習得させるべき方法は、「段落毎の要約をする」である。段落毎に中心となる語や文を見つけ、要約する場を設定することで要約の意味や要約の仕方の習得を目指す。

#### <視点② 学びがつながる「課題設定」>

- 開催中の東京パラリンピックの話題に触れ、教師自作の悪い例のリーフレットを見せる。分かりやすいリーフレット作りに視点を置き、「泗水西小のみんなに向けて、大事な文や言葉を使ってまとめたパラリンピックリーフレットを作ろう」という単元の学習課題を設定することで、指導事項を児童とともに共有し、見通しを持って主体的に取り組むことができるようにする。
- 「泗水西小のみんなに向けて」という相手意識を明確にすることで、どの学年にも分かりやすく伝えるという目標が生まれる。言葉の意味や説明の仕方、文章構成にも注目させ、表現力の向上を目指す。
- 単元のゴールに向かうための問いかけを行い、課題意識を高め、めあてを共有していく。

#### <視点③ 学びを深める「課題解決」>

- 段落毎に中心となる語や文に線を引かせることで、考えや意見の根拠を明確にさせる。
- 中心となる語や文を見つける際に、ここでの中心とは、何を示すのかを明らかにすることで、「種目」や「ルール」「工夫」等のキーワードに着目させ、文章を読み取らせる。
- 授業毎の学習の足あとが残る教室掲示をすることで、前時までの学習を振り返りやすくする。
- 適宜、ペアでの話し合い活動を取り入れることで、自分の考えを広げたり、深めさせるとともに、発表することへの自信をつけさせる。
- パラリンピックに関する本や資料を集めたコーナーを教室に設けることで、パラリンピックをより身近なものに捉えさせ、学習や読書への関心を高める。
- 「I'm POSSIBLE」の取り組みと併せることで、筆者の考えやパラリンピックについて、より深く体験的に自分の考えを深めることにつなげる。

#### <視点⑤ 目的のある ICT 活用>

- パラリンピックの競技によっては、児童にとってなじみのないものがあることが考えられる。そのため、実際に競技の映像を見せることで、競技に対するイメージをより具体化できるようにする。

#### <人権が尊重される授業づくりの視点>

- 自己選択・決定の場として、紹介したいパラリンピック競技やテーマを児童に選択させる。

4 本時の学習 (7/13)

(1) 目標 5、6段落について、大事な語や文を明らかにして、要約することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
みとおす	5	1 漢字を学習する。	○電子黒板を用いて、書き順の確認をする。
	5	2 前時の学習内容からめあてを設定する。 ① 前時の復習をし、要約するためには、5、6段落における大事な言葉や文を明らかにする必要があることを確認し、本時のめあてを設定する。	○前時の段階で、5、6段落における大事な言葉や文だと思ったところには児童間で差があることを電子黒板を用いながら示し、本時の課題意識を高め、めあてを設定させる。
		パラリンピックのきょうぎを分かりやすく伝えるためには、どうしたらよいでしょう  【めあて】大事な言葉や文をはっきりさせて、5、6段落を要約しよう。	
もとめる	5	3 前時で見つけた5、6段落における大事な言葉や文を確認する。 ① 5、6段落を音読する。 ② 前時で見つけた5、6段落における大事な言葉や文を確認する。	○競技を要約する上での大事な言葉や文は、何を基に見つけるとよかったかを確認する。 ○前時で考えた自分の意見を確認させ、理由も一緒に発表することを伝える。
ふかめる	25	③ 自分が見つけた大事な言葉や文を伝え合う。 ◇いくつかの泳ぎ方があるのか知らせるために、「七つの種目」は必要だと思います。 ◇どういうやり方で泳ぐのかを知らせるために、「しょうがいのあるしゅるいやていによって、ルールの一部をかえるというくふうをしています。」のところが大事だと思います。 ◇「タッピングバー」は大事な言葉だと思います。わけは～。 ◇「水中からのスタートがみとめられています。」は、大事だと思います。わけは～。 4 大事な言葉や文を使って5、6段落を要約する。	○意見を聞く際に意識することとして、「自分の意見と同じか違うか」「本当にそうなのか」等のポイントを提示する。 ○なぜそこを選んだのか問い返したりして、理由や根拠を明らかにさせる。 ○児童が迷う場合は、要約する目的を思い出させ、選んだ箇所が多少異なっても、根拠がはっきりしていればよいことを伝える。 ○要約する際は、初めから自分で文章を書くか予めこちらが用意した文章を添削するか児童に選ばせる。
まとめる	5	5 本時のまとめをする。  【まとめ】 きょうぎについて要約するときは、種目やルール、くふうに注目して短くまとめるとよい。  6 単元のゴールに対する本時の振り返りを行う。 ○大事な言葉や文を使って、要約することができた。	○児童の発言を拾いながら、本時の学びをまとめる。  ○単元のゴールについて、本時でできたこととできていないことを振り返らせ、次時の目標につなげる。

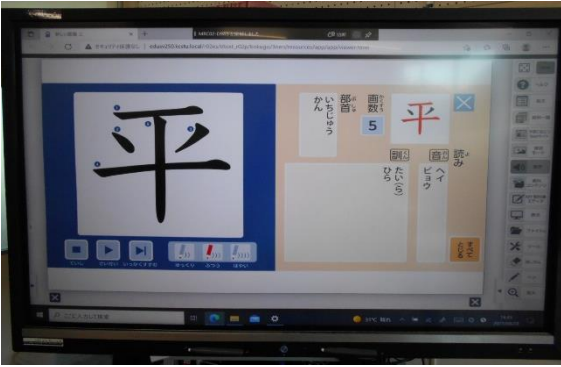
【板書計画】

<p>まとめ きょうぎについて要約するときには、種目やルール、くふうに 注目して短くまとめるとよい。</p>	<p>本文</p>	<p>ここでの大事な言葉や文とは？ ・種目 ・ルール ・くふう</p>	<p>めあて 大事な言葉や文を明らかにして、5、6 だん落を要約しよう。</p>	<p>問題 パラリンピックのきょうぎを分かりやすく伝えるため には、どうしたらよいでしょうか。</p>	<p>パラリンピックが目指すもの</p>	<p>単元のゴール 泗水西小のみんなに向けて、大事な文や言葉を使ってまとめた パラリンピックリーフレットを作ろう</p>	
		<p>理由</p>	<p>聞く時の ポイント</p>				
		<p>・○○○○○ ・○○○○○ ・○○○○○ ・○○○○○ ・○○○○○</p>					

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

- 漢字の学習の際に書き順を示す。
- 前時終了時の児童（個々）が大事だと思った本文の箇所をおおまかに示す。
- 児童のノートを実物投影機等で映す。



3 6 6 7

⑤ パラリンピックの水泳は、オリンピックと同じように、「自由形」「平泳ぎ」などの七つの種目で競います。きょうぎは、いったんの水泳と同じルールにもとづいていますが、しやうがいのしゆるいやていごによって、ルールの一部をかえるというふうをしていきます。

⑥ たとえば、しかくしやうがい選手の場合は、ゴールタッチやターンのときにかべにぶつかってけがをしないように、コーチがタッチングバーとよばれるぼうを使って、かべが近づいていることを選手に知らせることができま

す。また、足にしようがいがあつて、とびこみのスタートをすることがむずかしい選手は、水からのスタートがみとめられています。

水泳

※その他 課題解決を図る情報収集計画，検証結果やパフォーマンスの記録計画など（シーンに応じて活用計画を立てる）

【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

単元終了後は、見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む

説明文を読む際に、本単元で働かせた見方・考え方（目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること）を生かして、文章の読みを深めたり、紹介する文を書く。